

## 「求めること」と「すべきこと」

綾 香水子

私が「成人」と言われる18歳になると同時に選挙権を与えられてから、今年で5年目を迎えました。ここ数年では、衆議院議員選挙や参議院議員選挙などの選挙が行われ、私も投票したり、事務従事者として関わったりしました。私は政治や選挙に対して、興味がないわけではありません。戦争や物価高騰、環境問題、少子高齢化、外交問題など問題が山積みで、生活も影響を受けています。しかし、政治や選挙に関するニュースや公約を掲げて演説を行っている様子を見ても、また「やっているな」という思いしか浮かばず、誰でもいいやという考えで投票しました。

こういう機会をいただき、自分がなぜ政治や選挙に興味・関心がないわけではないのに、真剣に考えられないのか、参加意欲が低いのかを考えてみました。

1つ目は、知識がないということです。私は、一票が政治にどのような影響を与えているのか、なぜ若者が興味・関心を持つことが大事なのかなど、政治や選挙に関する知識が足りないと思っています。まずは早い段階で政治や選挙に関する教育を受けて、知識を得ることが自分事として政治を捉え、興味や関心を持つことにつながると考えます。

2つ目は、自分自身が危機感を持っていないということです。日本は治安もよく、戦争もなく、医療や教育をしっかりと受けられる国です。私は、それが当たり前前に続くものだと思っていますし、何か問題が起こっても普段の生活にはほとんど影響を感じることもなく過ごしてきたため、今の政治や日本に対して危機感もなく、真剣に日本や将来のことを考えていませんでした。

しかし、近年は始めにも述べたような解決に長い時間がかかる問題が多く発生し、影響も少なからず受けています。今は大丈夫でも10年後、50年後も今の暮らしを送れるという確証はなく、自分事としてしっかり向き合っていく必要があると思うようになりました。

3つ目は、期待をしていないということです。これまでも何回も選挙が開催され、その度に政治が止まり、公約も実現しないまま次の政権などになる状況に、誰になっても「どうせ何も変わらない」という「諦め」と「無力感」を感じています。

私は、知識不足、危機感のなさ、期待をしていないという3つの理由から、政治や選挙を真剣に考えられていないのだと気づきました。そのため「知識不足」については、ニュースやSNSなどで少しずつでも情報収集をする、「危機感の無さ」については、今抱えている課題が将来にどのように影響するのか、

海外で起きていることが日本でも起こる可能性があるのではないかということ片隅にでも考えておくということをしていきたいと思います。

「期待をしていない」ことについては、私は、「諦め」や「無力感」を感じさせない、「期待できる」政治にするために、議員の方々に4つ求めることがあります。SNSなどを用いて活動内容や現在取り組んでいることを発信すること、結果をしっかりと出すこと、国民が求めていることをアップデートしていくこと、不安や不信感を与える行動、発言をしないことを徹底することです。

今年は18歳が「有権者」となってから10年を迎える節目の年です。若者が現状に危機感を持って、思いや考え、求めていることを示さなければならぬ状況になっていると強く感じます。そのためにも、政治や選挙に興味を持つこと、参加することが重要になるのではないのでしょうか。

私自身を含む「わけもん」は、今後の社会や政治に自分が「求めること」と「すべきこと」をしっかりと考え、行動することが必要です。私は、「期待したい」と思える政治になってほしいということ「求め」、そのために危機感を持つ、知識をつける、投票するなどという「すべきこと」を行いたいと思います。